

山口県教職員団体連合会 第66回 定期大会 開催!

情熱・英知・団結 子供に夢を 職務に誇りを

「子供に夢を 職務に誇りを」という

県教連の活動は、「先人植樹 後人楽涼」という言葉で例えられます。私たち県教連などの教職員団体の活動はまさに後人楽涼のためであると言えます。全ては子供のことを第一に考えた正しい教育の在り方を目指しているのです。県教連の諸先輩方は、昭和29年に全国に先駆けて新しい組織を設立し、「情熱・英知・団結」そして

皆様に御見舞いを申し上げます。悔やみ申し上げますとともに、被災者の皆様にお見舞いを申し上げます。

県教連結成以来、活動を通じて改善された給与・勤務条件は多岐に渡ります。平成からの27年の間にも、延べ122の項目について改正がなされてきました。しかしながら、現在の状況は場は、未だ大変厳しく、多忙な状況にあります。その理由は、数々の教育施策の導入、時代とともに変化してきた家庭や地域への対応等、多種多様な要素が学校に入ってきたからです。その一方で、教職員の基礎定数の改善は見送られ、1人当たりの業務は膨れ上がり、子供と向き合う時間が奪われ、教育専門職としての生きがいを見失ってしまいかねない状況です。



4月には、九州の熊本・大分を中心に地震による甚大な被害が発生しました。御遺族の方々には謹んでお悔やみ申し上げます。

先人植樹 後人楽涼

資質向上のための研修活動の充実を 子供と向き合える教育環境の整備を

質の高い教育の推進のために

義務教育国庫負担制度の確立を

職務に見合った給与制度の確立を

一人一人が心をひとつにし、正しい教育に向かつて進んでいくために、本日の定期大会が有意義なものになることを期待します。

(委員長のあいさつより)

私、県教連は、山口県教育を支える一本の柱であるべきだと思います。そのためにも、県教連はこれからは、さら

に大きく発展していかねばなりません。

県教連は一人一人が心をひとつにし、正しい教育に向かつて進んでいくために、本日の定期大会が有意義なものになることを期待します。



「情熱・英知・団結」そして「子供に夢を 職務に誇りを」という

県教連の活動は、「先人植樹 後人楽涼」という言葉で例えられます。私たち県教連などの教職員団体の活動はまさに後人楽涼のためであると言えます。全ては子供のことを第一に考えた正しい教育の在り方を目指しているのです。県教連の諸先輩方は、昭和29年に全国に先駆けて新しい組織を設立し、「情熱・英知・団結」そして

皆様に御見舞いを申し上げます。悔やみ申し上げますとともに、被災者の皆様にお見舞いを申し上げます。

県教連結成以来、活動を通じて改善された給与・勤務条件は多岐に渡ります。平成からの27年の間にも、延べ122の項目について改正がなされてきました。しかしながら、現在の状況は場は、未だ大変厳しく、多忙な状況にあります。その理由は、数々の教育施策の導入、時代とともに変化してきた家庭や地域への対応等、多種多様な要素が学校に入ってきたからです。その一方で、教職員の基礎定数の改善は見送られ、1人当たりの業務は膨れ上がり、子供と向き合う時間が奪われ、教育専門職としての生きがいを見失ってしまいかねない状況です。

「子供に夢を 職務に誇りを」という

県教連の活動は、「先人植樹 後人楽涼」という言葉で例えられます。私たち県教連などの教職員団体の活動はまさに後人楽涼のためであると言えます。全ては子供のことを第一に考えた正しい教育の在り方を目指しているのです。県教連の諸先輩方は、昭和29年に全国に先駆けて新しい組織を設立し、「情熱・英知・団結」そして

皆様に御見舞いを申し上げます。悔やみ申し上げますとともに、被災者の皆様にお見舞いを申し上げます。

県教連結成以来、活動を通じて改善された給与・勤務条件は多岐に渡ります。平成からの27年の間にも、延べ122の項目について改正がなされてきました。しかしながら、現在の状況は場は、未だ大変厳しく、多忙な状況にあります。その理由は、数々の教育施策の導入、時代とともに変化してきた家庭や地域への対応等、多種多様な要素が学校に入ってきたからです。その一方で、教職員の基礎定数の改善は見送られ、1人当たりの業務は膨れ上がり、子供と向き合う時間が奪われ、教育専門職としての生きがいを見失ってしまいかねない状況です。



発行
山口県教職員団体連合会
代表者 小坂 朝之
編集人 島村 暢之
山口市大手町教育会館内
電話 (083) 922-2049番
FAX (083) 921-0907番
E-mail:
kyoren@orange.ocn.ne.jp
ホームページ
http://www.kenkyouren.com



来賓祝辞 県教連に期待を込めて



全日教連委員長
岩野 伸哉 氏

山口県教育の発展のために、永きに渡りその役割を果たし、実績を残されてきた山口県教連に対し、深甚なる敬意を表します。私達全日教連は、「美しい日本人の心を育てる」という確固たる意志のもと、次世代を担う子供たちの健全な成長を願う教育専門職として教育を推進する、心ある真つ当な教職員のために、勤務条件の改善を国や関係諸機関に訴えています。



衆議院議員
河村 建夫 氏

戦後において、「日本人の心をどう立て直していくのか」という教育の在り方を示し、今日まで活動してこられた県教連に敬意を表します。「子供に夢を 職務に誇りを」というスローガンのもと、今後の御活躍を祈念いたします。



県教育庁教育次長
原田 尚 氏

山口県教連におかれましては、本県教育の充実、発展に御協力をお願いし、御支援、敬意を表します。今後も、次世代を担う子供たちを育てていくために、より一層のお力添えをお願いいたします。

平成28年度 運動方針(要旨)

今年度も県教連では、「組織の拡大」を最重要課題として、運動を展開してまいります。組織を拡大していくためには、主体的な意志をもって活動していくことが必要です。そこで、今年度は、活動目標を、「全ての活動を組織の未来へ繋げる」と設定しました。昨年度提案した「全ての活動は組織の未来へと繋がる」とは、2文字の変更にありますが、そこに組織の拡大、その先にある発展という強い意志を込めています。県教連は、結成以来のスローガン「情熱・英知・団結」そしてそれらを具現化した「子供に夢を

活動目標 全ての活動を組織の未来へ繋げる

資質向上のための研修の充実をめ

職務に誇りを」というスローガンのもと、活動して参りました。運動方針の概要を理解し、会員全員が一体となつて活動を展開していくことが、組織の拡大、発展には不可欠です。県教連情報2ページより、「(I) 組織を拡大する運動(II) 教育環境・生活環境の整備をめざす運動(III) 資質向上のための研修の充実をめざす運動」について、要旨を掲載しています。是非ご覧ください。教育専門職としての誇りを胸に、組織拡大のための具体的な行動、現場の声を行政に伝える交渉活動、魅力ある研修会の実施及び、スキルメリットを生かした福利厚生事業の展開等全ての活動を県教連の未来に繋がります。